



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
〔URL〕 <https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2026年6月15日

報道関係各位

“札幌市円山動物園内自動販売機”
売上の一部を札幌市円山動物園へ寄付！

寄付金 5,500,000 円

～2026年6月22日（月） 寄付金贈呈式～

累計寄付金額
1億円突破！

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：酒寄正太）は、2026年6月22日（月）、札幌市円山動物園（所在地：札幌市中央区 園長 白水 彩）へ、当園内に設置している自動販売機を通じた「2025年度寄付金贈呈式」を下記の通り実施いたしますので、ご案内申し上げます。

当社は「さっぽろまちづくりパートナー協定」に基づき、札幌市円山動物園の環境教育活動と賑わいづくりを通して、子ども達の未来を応援する事を目的に、売上げの一部を2013年度より同園のために寄付しており、各種支援事業の運営やエサの購入など、動物園発展のために利用されています。

自動販売機の売上を通じた本年度の寄付金は 5,500,000 円となり累計金額は 103,824,990 円となりました。

寄付金贈呈式のお知らせ

日 時： 2026年6月22日（月）9時40分より

場 所： 札幌市円山動物園 正門付近 動物園センター内
（札幌市中央区宮ヶ丘3番地1）

出席者： 札幌市円山動物園 園長 白水 彩 様
NPO法人さっぽろ円山動物園サポートクラブ会長 金子 正美 様
北海道コカ・コーラリテール&ベンディング株式会社
エリア統括本部 エリア統括本部長 奥村 祐太



園内の寄付型自動販売機

私たち北海道コカ・コーラグループは、「北の大地とともに」をスローガンに、人々にさわやかさと潤いを届ける「どさんこ総合飲料メーカー」として、北海道の豊かな自然と地域ごとに魅力あふれる暮らしを未来につなげるため、「スマイルで暮らせる北海道」を道民の皆様とともに目指します。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部 担当：西川
お問合せフォーム：<https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/form/>



<お問合せフォーム>

<参考> 札幌市との協働の取組みについて

➤ 「さっぽろまちづくりパートナー協定」

札幌市では市民自治の推進を図るために、幅広い政策分野や事業について、ともにまちづくりを担っていくことを合意できた企業と、包括的な連携協定（名称 さっぽろまちづくりパートナー協定）を締結しています。札幌市と当社は以下の4分野を連携の柱とした協定を2009年1月に締結しました。

- (1) 未来を担う子ども達が健やかに育つまちづくり
- (2) 安心・安全で誰もが健康に暮らせる、人と環境にやさしいまちづくり
- (3) 観光・文化・スポーツの振興を通じた、都市の魅力が輝くまちづくり
- (4) 地域の連携・協働を進めるまちづくり

〈同協定に基づいた取組み〉

- ・ 2009年11月より「さっぽろ雪まつり」を応援するため、「コカ・コーラ」、「コカ・コーラ ゼロ」の「さっぽろ雪まつり応援デザイン缶」を発売し、売上の一部をお祭りの運営に寄付。
- ・ 2010年5月より、「YOSAKOIソーラン祭り」を応援するため、「コカ・コーラ」と「コカ・コーラゼロ」の「YOSAKOI ソーラン祭り応援デザイン缶」を発売し、売上の一部をお祭りの運営に寄付。
- ・ 「区民が主体のまちづくり」の推進を支援する為、市内10区と、各区の特色を活かした連携事業を展開。
- ・ 安心・安全なまちづくりへの取組みとして、災害時の飲料供給が可能な災害対応型自動販売機を活用し、札幌市主催の防災訓練への参加、その他の防災啓発活動への協働での取組みを実施。



➤ 「札幌市円山動物園を舞台とした環境協働事業」に関する協定

札幌市円山動物園を舞台として、札幌市民や札幌を訪れる方々に環境問題を考えるきっかけを提供する事を通じて、潤いある環境文化都市の実現に向けた環境協働事業に関する協定を2008年4月に締結しました。

〈同協定に基づいた取組み〉

- ・ 2010年9月に、札幌市円山動物園において取り組んでいる「野生動物復元プロジェクト」を応援し、「猛禽類野生復帰施設」の建築費用の一助として1,000万円を同プロジェクトに寄付。
- ・ 次世代教育の場として札幌市円山動物園内に「nature café EARTH（ネイチャーカフェアース）」をオープンし、来園者に休憩を楽しんでもらうほか、環境の大切さを感じていただく場として運営。
- ・ 2019年3月に、完成したゾウ舎内にゾウの生態に関してタッチウォールで見え触って学ぶことができる「ゾウさんのタッチシアター」をオープン。
- ・ 2024年5月に、新施設としてオープンした「オランウータンとボルネオの森」にボルネオの自然やオランウータンの生態を学ぶことができるインタラクティブコンテンツ「い・ろ・は・すビジョン」を寄贈。



➤ 「環境事業に関する協定」の取組み

札幌市清田区にある「白旗山における森づくり事業」や「札幌市円山動物園における賑わいづくり事業」等を通して、環境啓発活動を相互に連携して取り組んでいくことを柱とした包括協定を2011年6月に締結しました。

〈同協定に基づいた取組み〉

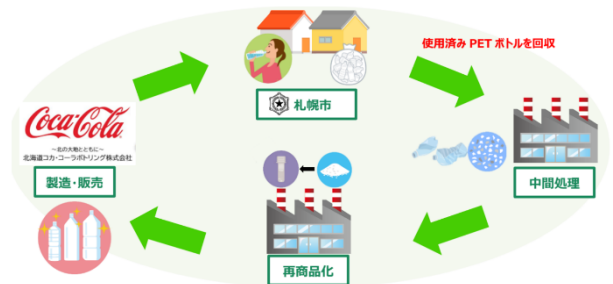
- ・ 白旗山都市環境林において、札幌市森林組合や市民団体などと連携し、長期にわたる森づくりを展開。
- ・ 札幌工場が使う地下水の水源が清田区の白旗山であることから、札幌市と結んだ「環境事業に関する協定に」基づき、白旗山の森づくりを進めています。毎年、当社の社員で植樹活動を行っています。



➤ 「資源循環の推進」に関する取組み

〈本取組における実施内容〉

「ボトル to ボトル試行事業」に関する協働の取組みとして札幌市と同市の市民等が排出する PET ボトルの一部を資源循環型リサイクルとして再生利用することにより、廃棄物の減量及び資源の有効利用を推進し、持続可能な環境・社会・経済を目指すことを目的とした取組みを2024年10月より開始いたしました。北海道コカ・コーラとしては札幌市が試行事業として実施する PET ボトルの50%を引き受け、ボトル to ボトルのリサイクル処理を実施いたします。



～以下、当社実施分の紹介～

【第一期試行事業（2024年10月～2025年9月）】

札幌市が回収した PET ボトルの一部（500トン / 1年間）を PET ボトルへのリサイクルを実施。

【第二期試行事業（2025年10月～2026年9月）】

試行事業2年目も第一期同様に、PET ボトルの一部（1,000トン / 1年間）を PET ボトルにリサイクルすることについて実施し、運用面での効率化、課題解決へ向けて札幌市と連携して進めてまいります。

以上